



注目ポイント

- ✓先週の日経平均は8週ぶりに下落。14日には自民・公明党の連立解消による政局不透明感から株価は大幅に下落。その後、自民党が日本維新の会と連立政権の構築を視野に政策協議入りしたことが好感され、日経平均は大幅に上昇した。しかし週末17日には、前日の米地銀の信用不安を背景とする米株安が嫌気されて日経平均は再び大幅に下落。一方、先週のドル円は円高ドル安が進展。米中の貿易摩擦に対する警戒感や米地銀の信用不安を受けて、低リスク通貨とされる円が買われた。
- ✓今週の注目は、21日に招集される日本の臨時国会。首相指名選挙で高市早苗自民党総裁が勝てば、財政拡張的な政策への期待感から日経平均に上昇圧力がかかろう。また外為市場では、高市氏が首相に指名されれば、高市トレードが意識されて円売りが再燃する可能性がある。(北田英治)

2025年10月13日 ~ 2025年10月17日

市場・指標			10月13日 ~ 10月17日		10月17日	前週末比		トレンド (直近2か月)
			高値	安値	終値	騰落幅	騰落率	
株式	日本	日経平均 (円)	48,511	46,544	47,582	-507	-1.1%	
	米国	NYダウ (ドル)	46,693	45,452	46,191	+711	+1.6%	
	ドイツ	DAX (ポイント)	24,449	23,684	23,831	-410	-1.7%	

市場・指標			10月13日 ~ 10月17日		10月17日	前週末比	トレンド (直近2か月)
			最高	最低	終値	変化幅(%)	
金利 (国債)	日本	10年 (%)	1.700	1.615	1.620	-0.070	
	米国	10年 (%)	4.07	3.93	4.01	-0.02	
	ドイツ	10年 (%)	2.66	2.52	2.58	-0.06	

市場・指標			10月13日 ~ 10月17日		10月17日	前週末比	トレンド (直近2か月)
			高値	安値	終値	変化幅(円)	
為替	米ドル (円)		152.61	149.38	150.61	-0.58	
	ユーロ (円)		176.91	174.82	175.47	-0.32	
	豪ドル (円)		99.49	96.26	97.85	-0.04	

市場・指標			10月13日 ~ 10月17日		10月17日	前週末比		トレンド (直近2か月)
			高値	安値	終値	騰落幅	騰落率	
その他	日本	東証リート (ポイント)	1,944	1,901	1,944	+24	+1.2%	
	米国	NY原油 (ドル)	60.17	56.60	57.54	-1.4	-2.3%	
		NY金 (ドル)	4,392	4,011	4,213	+213	+5.3%	

(注) Bloombergのデータを使用して浜銀総研作成。 休日・休場の場合は、その前営業日の値を使用して作成してあります。

②マーケット動向(振り返り&予想)

2025年10月20日 ~ 2025年10月24日

株式

強含みもみ合いか

日経平均
 【予想レンジ】 47,500 円 ~ 48,500 円

- 先週の日経平均は8週ぶりに下落。連休明けの14日には、公明党が自民党との連立政権から離脱したことに伴う政局不透明感から、リスク回避目的の売りが優勢となり、日経平均は大幅に下落した。しかしその後、自律反発狙いの買いに加え、自民党が日本維新の会と連立政権の構築を視野に政策協議入りしたことが好感されて、日経平均は大幅に反発した。ただ週末17日には、前日の米地銀の信用不安を背景とする米株安が嫌気されて日経平均は再び大幅に下落した。
- 今週の日経平均は強含みもみ合いか。注目は21日に招集される臨時国会。首相指名選挙で高市早苗自民党総裁が勝てば、財政拡張的な政策への期待感から日経平均に上昇圧力がかかろう。



金利(国債)

強含み(上昇)もみ合いか

10年国債利回り
 【予想レンジ】 1.600 % ~ 1.670 %

- 先週の国内金利は大幅に低下。連休明けの14日には、日経平均の大幅下落を受けて、相対的に安全な資産とされる債券が買われた。また15日には、通商問題を巡る米中の対立激化への警戒感が相対的に安全資産とされる国内債の買いを誘った。週末17日には、米地銀の信用リスクを巡る不安から安全資産の債券を買う動きが膨らみ、10年国債利回りは一時1.615%と約1か月ぶりの低水準をつけた。
- 今週の国内金利は、強含み(上昇)もみ合いか。21日招集の臨時国会で高市自民党総裁が指名されれば、高市氏が掲げる財政拡張政策が意識されて債券の売り圧力が高まろう。また20日の高田日銀審議委員の講演も注目。高田氏は9月の決定会合で利上げを提案しており、高田氏の発言で日銀の早期利上げ観測が再び強まる可能性も。



為替(米ドル)

円弱含みでのみみ合いか

米ドル/円
 【予想レンジ】 149.50 円 ~ 152.00 円

- 先週のドル円は、円高ドル安が進展。15日には米中の貿易摩擦に対する警戒感から、ドルを売って円を買う動きが優勢となった。FRBの利下げ観測もドル売り材料となった。また16日には、米地銀の信用不安を背景とする米株安を受けて、低リスク通貨とされる円が買われた。ただ週末17日には、トランプ米大統領の発言を受けて、貿易問題を巡る米中の緊張が緩和に向かうとの期待が広がり、ドル買いが優勢となった。
- 今週のドル円は、円弱含みでのみみ合いか。21日の首相指名選挙で高市早苗自民党総裁が勝てば、高市トレードが意識されて円売りが再燃すると予想される。ただ、米地銀の信用リスクへの警戒感から円買いドル売りが入る可能性にも引き続き要注意。

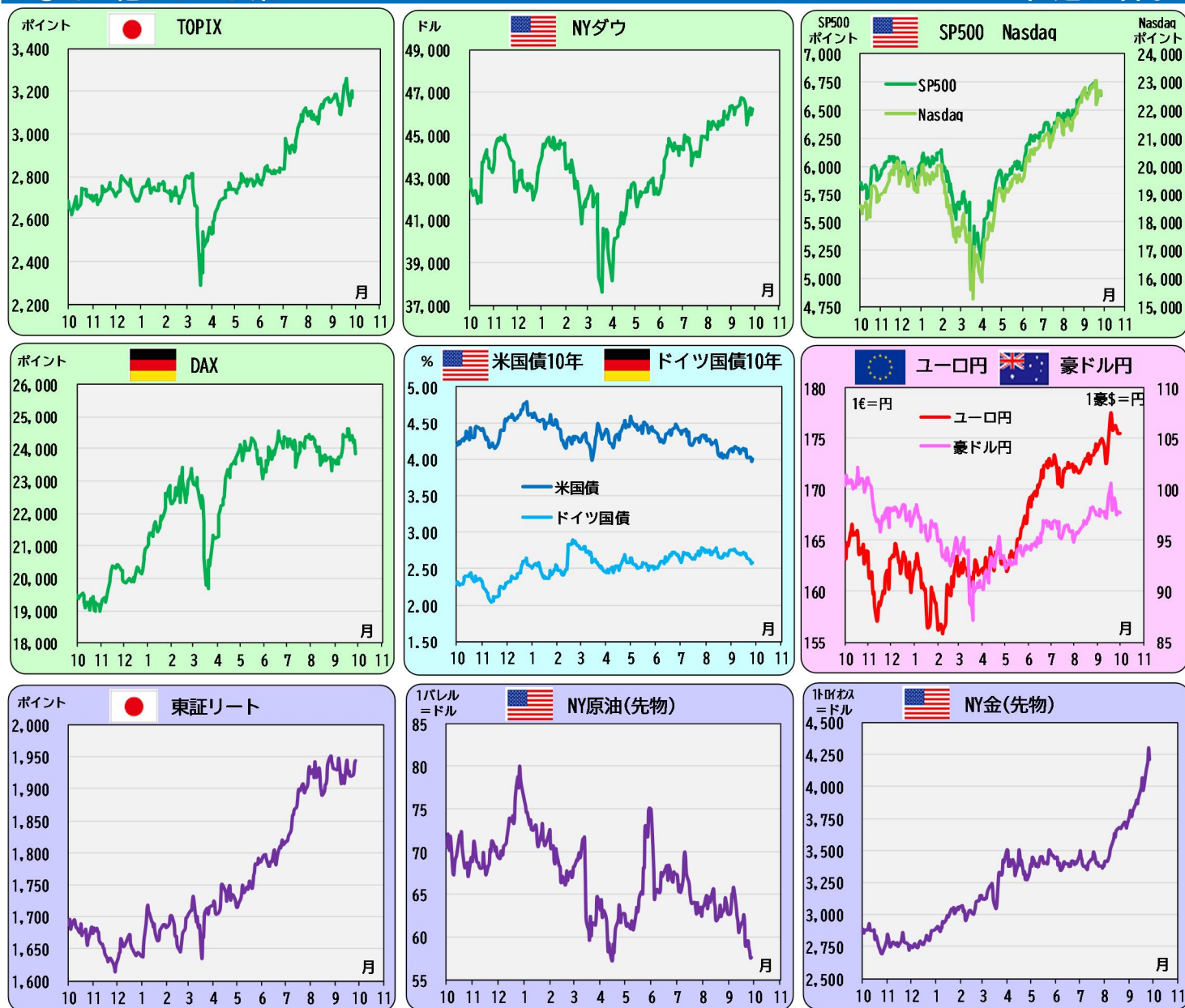


○今週の注目指標 ※内容および日程が変更される場合があります。

月 日	国 内	海 外
10/20(月)	日銀の高田審議委員が中国経済連合会で講演	米国: 景気先行指標総合指数(9月)
10/21(火)	臨時国会招集	
10/22(水)	貿易収支(9月)	米国: 国債入札(20年)
10/23(木)		米国: 中古住宅販売件数(9月)
10/24(金)	CPI(9月)	米国: 新築住宅販売件数(9月) 米国: CPI(9月)

③その他チャート集

直近1年間



※頻出英字略称用語一覧

略称	正式名称	略称	正式名称	略称	正式名称
AI	人工知能	FRB	米連邦準備理事会	PCE	個人消費支出
CTA	商品投資顧問	FTA	自由貿易協定	PER	株価収益率
CTFC	米商品先物取引委員会	GDP	国内総生産	PMI	購買担当者景気指数
CPI	消費者物価指数	IMF	国際通貨基金	PPI	卸売物価指数(生産者物価指数)
ECB	欧州中央銀行	IEA	国際エネルギー機関	SQ	特別清算指数
ETF	上場投資信託	ISM	米供給管理協会	TPP	環太平洋経済連携協定
EU	欧州連合	OECD	経済協力開発機構	WSTS	世界半導体市場統計
FDI	海外直接投資	OPEC	石油輸出国機構	WTI	ウエストテキサスインターミディエート(原油)
FF	フェデラルファンド	OPEC+	OPEC加盟国と非加盟国の枠組み		
FOMC	米公開市場委員会	PBR	株価純資産倍率		

●ご留意事項

- 本レポートの目的は情報提供であり、売買の勧誘ではありません。本レポートに記載した内容は、発行日午前9時までの情報にもとづく浜銀総合研究所・調査部の見解であり、レポート発行後に予告なく変更することがあります。また、本レポートに記載されている情報は、浜銀総合研究所・調査部が信頼できると考える情報源にもとづいたものですが、その正確性、完全性を保証するものではありません。最終的な投資判断はお客様ご自身でなさるようお願いいたします。
- 本レポートに関するお問い合わせは浜銀総合研究所・調査部までお願いいたします。